［報告第１号］　平成２７年度事業報告について

平 成 ２ ７ 年 度 事 業 報 告

入込増加が期待される国際観光については、現地商談会などへの積極的参加を促すため、経費助成を拡充した結果、海外に目を向け、事務局とともにアクションを起こす会員が増えつつある。一方で、これまで国外から本県へのアクセスを担ってきた「秋田・ソウル線」が、ＭＡＲＳの影響により夏季運休となったほか、冬季も運休が決定するなど、韓国からの誘客に力点を置いた従前の取組が岐路に差し掛かっている。

一方、集客のメインとなる国内観光については、バスツアーの減少等による影響が見られるものの、県と連携した「アキタノ旅クーポン券」発行による需要喚起、北海道からの教育旅行や近隣県からのバス旅行誘致など、会員と一体となった集客活動に取り組んだほか、県内イベントや近隣県における観光ＰＲ、クルーズ船に対する観光案内等を行った。

受入態勢の向上については、「みんなにやさしい観光あきたづくり」の初年度として、県旅館ホテル生活衛生同業組合との連携を図りつつ、正会員施設を巡回訪問し、丁寧な説明に努めた結果、会員施設全体の８割以上が活動への参加を表明するなど「オール秋田」の取組に発展しており、次年度の「あきた旅のサポートセンター（秋田バリアフリーツアーセンターを含む）」開設に向け、準備を進めている。

宿泊客数に係る会員からの毎月アンケート調査によれば、近隣県との「ふるさと割」宿泊客の競合等により、前年比マイナス基調で推移しており、年間トータルでも減少が見込まれるが、引き続き意欲ある会員が安心して前に進める環境づくりに努めてまいりたい。

お客様目線の重視とビジネスとして継続・成長していく観光産業の形成

１　地域主体による新たな観光資源の形成等

会員が連携しながら各地域の観光素材の掘り起しや磨き上げ､着地造成等に取り組んだ。

(1) 観光地魅力アップに向けた支援

複数の正会員が自主的かつ新たに実施する意欲的取組に対し、補助対象経費の２分の１、２０万円を上限とした経費の助成や助言を行った。

○6/15- 9/30　環鳥海ドライブマップ作成事業
由利地域観光振興会、にかほ市観光開発株式会社

○6/ 1-12/31　「歩くまち角館」事業
（一社）田沢湖・角館観光連盟、（一社）角館町観光協会

○9/ 1- 3/31　醸造のまち湯沢 web 構築事業
（名）トマトクリエーション、湯沢ロイヤルホテル

○7/15- 3/31　秋田空港における能代行き２次アクセスの情報提供事業
能代観光協会、能代商工会議所

○8/ 1- 3/31　秋田県内空撮映像「見える化」on the web 促進事業
（株）妙乃湯、（株）アルク

○7/15- 3/31　潟上市観光ロードマップに、スマホやタブレットで臨場感を体験できることが可能なシステムを取り付けた観光集客事業
（有）クイック、天王グリーンランド

○7/21- 3/20　AKITA Trail Run Festival in まんたらめ 2015
NPO 法人トップスポーツコンソーシアム、（株）See Visions

⑵花まるっモニターツアーの実施

着地型旅行商品開発、県内相互交流等を目指す地域と連携し、個人会員等を対象に、正会員施設等を活用したモニターツアーを６回実施した。

○第１回　7/11　『池田修三 版画作品鑑賞と旬のにかほを巡るツアー』（２０名参加）

○第２回　8/14　『男鹿日本海花火とジオ堪能ツアー』（３５名参加）

○第３回　9/26　『木都能代　満喫ツアー』（３９名参加）

○第４回　10/4　『大人のなべっこ遠足 in 川口渓谷』（１７名参加）

○第５回　12/10　『ミュージカル「政吉とフジタ」鑑賞と見どころ寄りどころ満載！秋田市まちあるきツアー』（２０名参加）

○第６回　1/23　『森吉山の樹氷＆比内とりの市見学』（３９名参加）

(3) レンタカーによる二次アクセス強化

①近年増え続けているレンタカー利用者や近隣県からの車での観光客向けにドライブガイドマップ「あきたくるまっぷ」を作成し配布した。

発行部数　１０，０００部

設置場所　秋田・大館能代空港及び秋田新幹線沿線のレンタカー営業所
県内道の駅、道の駅雫石、観光案内所、
県外事務所及び美彩館、
日産グループの県内自動車販売店　等

特　徴　観光連盟会員施設の優待特典付き、
大型県内地図掲載、マップコード付き
所要時間表やモデルルートを掲載

②初回作成時､引き合いが多く早くに在庫切れとなったことから、平成２８年春夏のドライブシーズンに向けて増刷した。

発行部数　１０，０００部

(4) 乗合タクシーによる二次アクセス強化

秋田エアポートライナーを運営する秋田空港からの二次アクセスを高める会の事務局を担当し、会の活動への支援を行った。平成２７年度は、空港利用者へのアンケート調査を実施したほか、周知用のチラシの作成や広告助成制度を設けて大阪地区の旅行エージェントへのセールスを行った。

２　地域リーダーの育成・支援

観光を取り巻く環境や顧客ニーズの変化を学ぶとともに、「家業」から「企業」への転換に向け、設備投資や経営改善に関する講座等を開設するなど、諸準備を進めた。

(1)「観光秋田未来塾」の開設

○12/17　第１回観光秋田未来塾（４８名参加）
テーマ：老舗旅館の伝統継承とサービス革新
講　師：鎌先温泉 時音の宿 湯主一條 二十代目女将 一條千賀子氏

○ 1/12　第２回観光秋田未来塾（３７名参加）
テーマ：外国人のココロをつかむ、インバウンド情報戦略
講　師：（株）オールアバウト グローバル推進室 弘中雪絵氏
All About Japan 編集長マイケル・カナート氏

○ 1/25　　観光秋田未来塾特別講座（６９名参加）
テーマ：国・県の補助金制度の概要等勉強会
講　師：国、県庁各課担当者

○ 2/17　　第３回観光秋田未来塾（２２名参加）
テーマ：二次交通を自ら確保（株）ホワイトリングの取り組み
～旅館業がバス会社・旅行会社を設立～
講　師：（株）ホワイトリング旅行バス事業部統括マネージャー
中村　吉成　氏
プランニング・セールスマネージャー
葦名　理恵　氏

(2)「秋田観光道場」の開設

○6 月に秋田県東京事務所首都圏営業統括監の前田和久氏を講師に招き、国内外の観光客増加を図るため、県北、県央、県南の県内３地区で「秋田観光道場」を開催した。３地区で５７名が参加し「首都圏から見た秋田の観光」について意見交換を行った。

6/5(金)角館広域交流センター

6/12（金）五風（男鹿市）

6/19（金）「コモッセ」（鹿角市）

○2 月に県北、県央、県南の県内３地区で２回目の「秋田観光道場」を開催した。
１回目に引き続き､秋田県東京事務所首都圏営業統括監の前田和久氏を講師に招き、国の今後の取り組み、インバウンド関係、自治体間の地域連携などのほか、秋田県のグルメの価値や発展性について講演を行った。

2/23(火)ニューグランドホテル松鶴

2/24（水）ルポールみすほ

2/25（木）横手セントラルホテル

(3)「カイゼン」方式導入に関する勉強会の開催

○「ものづくり」のノウハウを応用し、観光事業における生産性向上の可能性を探るため、トヨタ自動車東日本(株)の専門スタッフと勉強会を開催した。
8 月 18 日(当連盟及び県職員が受講)
講師：同社ものづくり研鑽室異業種グループ　チーフエキスパート　今野弘氏他

○ トヨタ生産方式による改善セミナー「改善活動発表会」へ参加した。
2 月 10 日
会場　ホテル東日本盛岡
主催　岩手県観光連盟

(4) 明日の観光人材の育成

○インターンシップの受入	9/14-19	秋田公立美術工芸大学	1 名
○中学校体験学習の受入	7/2	秋田市立勝平中学校 2 年生	3 名
	7/29	秋田大学教育文化学部附属中 1 年生	1 名
	10/6	秋田市立勝平中学校 1 年生	4 名

３　ＤＣを契機としたリピーター戦略を核とする「選ばれる秋田づくり」

秋田の観光創生会議（副会長：齋藤善一当連盟会長）などと連携し、首都圏等での周知宣伝に取り組んだほか、東北六魂祭や「アキタノ旅クーポン券」を活用した集客に努めた。

(1) 秋田の観光創生推進会議への協賛

①県外における周知宣伝活動等（県委託事業）

○6/25-27　　大宮産直市・観光展（埼玉県・ＪＲ大宮駅）
○10/1-3　　上野産直市・観光展（東京都・ＪＲ上野駅）
○10/16-18　　秋田まるごと市ｉｎ東京ソラマチ（東京スカイツリータウン）
○11/10-13　　大宮産直市・観光展（埼玉県・ＪＲ大宮駅）

②県内における活動

○4/13　　設立準備会
○4/24　　設立総会
○3/10　　運営幹事会
○3/22　　理事会・総会

③ＪＲなどと連携した活動

○9/12　　奥羽本線全線開通１１０周年記念イベント

(2) 東北六魂祭開催への支援協力

①周知イベント等の開催

○4/17　　ＮＨＫ仙台放送局「ひるはぴ」番組になまはげとあきた舞妓が生出演し、東北六魂祭と秋田県の観光ＰＲ
○4/18-19　　仙台市一番町にある「藤崎本館」前で、東北六魂祭と秋田県の観光ＰＲ
○5/24　　「東北六魂祭おもてなしクリーンアップ」に当連盟職員が参加
○5/30-31　　東北六魂祭両日、秋田県の観光ＰＲ

②関係機関との連携

○ＮＥＸＣＯ東日本と連携し、県内への入込、県内移動に有効なフリーパスを発行
「東北観光フリーパス（東北６県、土日有効）」
※アンケートプレゼント提供

⑶ アキタノ旅クーポン券の発行（県委託事業）

○ 国の交付金を活用した県内宿泊施設で使えるプレミアム付き宿泊券を発行

額面１枚５，０００円の券を２，５００円で計４万枚販売（第１弾２１，１３５枚、第２弾１８，８６５枚）　当連盟にて、問合せ対応、施設との精算業務を受託

利用期間：平成２７年５月２５日～平成２８年２月２９日

利用実績：３４，９２０枚／利用率：８７．３％（２月１０日までの請求受付分）

※詳細は会員専用ページに掲載

⑷ 会議誘致の推進

○　誘致に取り組む市町村観光協会のニーズを踏まえ、県庁が把握する今後の開催情報を集約、関係機関と情報共有。

⑸ 近隣県からの旅行商品造成セールス（県内旅行新素材ＰＲ）

○5/19	仙台圏旅行代理店営業	６社
○6/ 9	山形県旅行代理店営業	３社
○6/10	青森県（青森・弘前地区）旅行代理店営業	３社
○6/11	青森県（八戸地区）・岩手県旅行代理店営業	６社
○6/25	クラブツーリズム仙台　秋田県内視察同行セールス	
○12/14	山形県旅行代理店営業	３社
○12/15	青森県旅行代理店営業	３社
○12/16	岩手県旅行代理店営業	４社
○12/21	仙台圏旅行代理店営業	６社

上記セールスの結果、提案した素材を使ったツアー約２，１００名催行（９～３月）

４　統一性のある情報発信

現地での持ち歩きに役立つようポケットサイズ版のガイドブックをテーマ別に作成したほか、需要が増大しているスマートフォンを活用した情報発信を行った。

⑴ テーマ性のある観光資料の発行

①ガイドブックの発行

○「みんなにやさしい観光あきたづくり」の一環として、動物連れの観光客などを対象に、県内の動物と触れ合える施設やペットと楽しめる施設を紹介する冊子を作成、配布した。

・名称「動物と触れ合える＆ペットと楽しめるガイドブック」

・発行部数　３０，０００部

・設置場所　当連盟会員施設のほか県内の観光施設、道の駅、公共施設、ペットショップなど

○当連盟で制作した「秋田トレッキングガイド」が大変好評であったことや平成２８年から施行される国民の祝日「山の日」（８月１１日）をＰＲするため、同ガイドを増刷した。

・名称「秋田トレッキングガイド」
・発行部数　２０，０００部
・設置場所　当連盟会員のほか県内の観光施設など

②会員施設用資料の発行

○「みんなにやさしい観光あきたづくり」の一環として、外国人観光客に向け、大浴場への入浴ルールを４か国語で解説した「入浴マナーポスター」を作成、配布した。
・名称「湯太郎の入浴＆マナー」
・発行部数　１，０００部
・設置場所　当連盟会員のうち、大浴場を有する宿泊施設

○県内イベント等の情報を会員等が共有するため、秋田県内のイベントカレンダー（平成２８年度版）を作成、配布した。
・名称「秋田県イベントカレンダー」
・発行部数　１，５００部
・設置場所　当連盟会員（法人・個人）のほか、道の駅、公共施設など

⑵出前観光ＰＲの実施

観光連盟職員が県内各地に出向き、地域や会員とともに観光ＰＲを行ったほか、主要施設でパンフレットを配布した。観光客の県内周遊・流動を促すため、各地域のイベント情報も併せてＰＲを行った。

①出前ＰＲ

・5/ 2- 6　秋田ふるさと村（横手市）
・5/30-31　東北六魂祭（秋田市）
・6/13-14　YOKOTE　I　believe（横手市）
・7/25-26　肉の博覧会 in 大館（大館市）
・8/ 1- 2　公立美術大学オープンキャンパス（秋田市）
・8/ 3- 6　秋田竿燈まつり（秋田市）
・9/12　能代おなごりフェスティバル（能代市）
・9/12-13　ふるさとあきたラン（横手市）
・9/21　公立美術大学オープンキャンパス兼学校祭（秋田市）
・10/3-4　湯沢うどんエキスポ（湯沢市）
・10/11-12　本場大館きりたんぽまつり（大館市）
・10/11-12　地域伝統芸能全国大会（横手市）

②本県パンフレット類の常設

・イオンモール秋田専用ラックで情報発信(毎週パンフレット補充)
・秋田空港ターミナルビル㈱　国内線到着ロビーのパンフレットラック
・道の駅雫石（岩手県雫石町）
・八戸ポータルミュージアム「はっち」（青森県八戸市）
・道の駅錦秋湖（岩手県西和賀町）
・道の駅鳥海ふらっと（山形県遊佐町）

・道の駅あ・ら・伊達な道の駅（宮城県大崎市）
・道の駅いかりがせき（青森県平川市）

(3) スマートフォンを活用した情報発信

○スマートフォン用アプリケーションを活用した本県観光情報、会員施設情報の発信
・H26　4月～2月のアクセス件数　27,514件
・H27　4月～2月のアクセス件数　20,188件　前年比73.4%

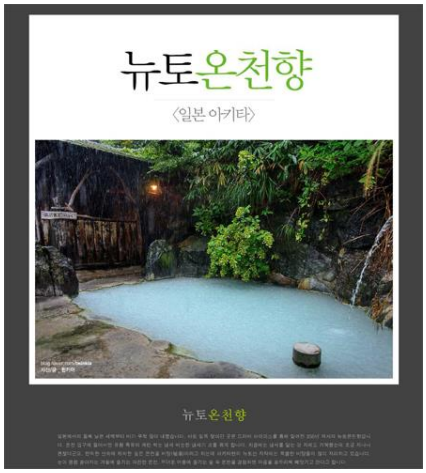
5　観光消費額が高い外国人観光客誘致の強化

今後の増加が期待できる台湾、韓国、タイを中心とする海外からの誘客を促進するため、現地での商談会やＰＲイベントなどに参加したほか、会員の参加促進を図るため新たに参加経費の助成制度を創設した。

(1) 訪日観光客誘客促進事業

①韓国からの誘客対策事業

○韓国マスコミ関係者招聘事業（県委託事業）
・9月3日～5日に 韓国のパワーブロガーを招聘し、秋田県の魅力をホームページ上で情報発信。
　ブロガーは2名を招聘。



キム・キョンギ【KIM KYEONGKI】
URL:http://blog.naver.com/twinkia

チェ・ボヒョン【CHOI BOHYUN】
URL: http://blog.naver.com/bjstour

○北東北三県・北海道　韓国プロモーション共同事業【商談会】（県委託事業）
「北東北三県・北海道ソウル事務所」主催の韓国旅行エージェント商談会。
韓国ソウル市内で開催。秋田県からは当連盟も含め９団体の参加。
10月6日（火）　韓国ソウル市　ザ・プラザホテル

○ソウル事務所設置運営業務（県委託事業）

韓国における観光分野を主体とした経済交流等を円滑かつ効果的に実施するため、北東北三県及び北海道が現地に合同事務所を設置し、今後、商談会やＰＲイベント等を実施。

○ソウル事務所物産共同事業（県委託事業）

韓国における秋田県産品の販売促進のため、ソウルで開催された大型見本市や食品展示会で PR したほか、今後、バイヤーを招聘し県内企業と商談。

・バイヤー招聘事業 2 月 14 日～17 日　バイヤー5 名来秋

韓国の飲食店経営者（バイヤー）を招聘し、秋田の物産品を PR。食品の輸出については、税関等の手続きもあるため、バイヤーの他に海外からの食品を輸出入している事業者も参加いただき、県内の事業者様とのマッチング。

○ソウル便運航再開に向けた支援活動

秋田県の認知度・お客様満足度・搭乗率（リピーター）の向上を目的として 6 月 1 日（月）～29 日（月）までの 1 カ月間、秋田空港でソウルからのお客様の歓迎イベントを実施した。

夏季運休明けの 9 月 3 日、運行再開初便において歓迎及びＰＲ活動を実施。ソウル便の安定的な運航について秋田の魅力を伝えて､身近な隣国として誘客を進めた。

また平成 28 年 2 月 27 日（土）にはソウル便のチャーター便の運航に併せて歓迎イベントを実施。

②台湾からの誘客対策事業

○台湾誘客促進事業（県委託事業）

・4/14-27　　チャーター便出迎え歓迎セレモニー（秋田空港）延７便運航

・6/18-21　　2015 新・日本旅遊節（観光プロモーションイベント）参加並びに台湾エージェント現地セールス

・8/19-21　　台湾トップセールス

・10/20-11/10　チャーター便出迎え歓迎セレモニー（秋田空港）延９便運航

・2/4-7　　ライオンブロガー招聘

・2/22-26　　台湾エージェントファムツアー開催

・2/22-28　　台湾スキー協会関係者招聘（山形・青森・岩手・秋田・宮城）（秋田滞在は 2/26-27）

○台湾エージェントセールス（自主事業）

8 月 19 日～20 日の日程で台湾からの誘客促進のため、県内事業者 3 社 4 名が台湾旅行エージェントへのセールスを行った。

・訪問旅行社 11 社

○台湾旅行エージェント商談会

11 月 10 日～14 日の日程で、台湾の高雄、台中、台北の３地区において、台湾旅行エージェントとの商談会を開催した。

○東北プロモーションｉｎ台湾２０１５及び日本東北六県感謝祭

12 月 2 日、3 日に台湾の対中、台北地区において旅行エージェントへの商談会を開催し、4 日～6 日の期間は、台北で開催された「日本東北六県感謝祭」イベントに参加し秋田県の観光ＰＲを行った。

③タイからの誘客対策事業

○タイ誘客プロモーション事業　（県委託事業）

・5/29-6/1　タイエージェント、メディア等招聘

・9/21-25　BCC（バンコク・クリスチャン・カレッジ）生徒のツアーを実施

・10/12-16　BCC（バンコク・クリスチャン・カレッジ）教員の学校視察

・10/22　　TTAA(タイ旅行代理店協会)関係者招聘

・11/1-7　　タイパワーブロガー招聘
・11/16-17　BCC（バンコク・クリスチャン・カレッジ）教員の学校視察
・11/24　　秋田・タイ王国友好協会理事会・総会・懇談会出席
・1/25-29　タイエージェント招聘（青森・秋田・山形）
　　（秋田滞在は 1/27-28）

○タイ現地説明会および学校訪問等（県主催）
　6 月 15 日～20 日の日程でタイからの誘客促進のため、現地説明会をしたほか、タイ旅行エージェントを訪問し、セールスを行った。また、将来の教育旅行や姉妹校締結を見据え、タイの教育機関や学校を訪問し、高い水準である本県教育の状況をＰＲした。

○アジアインバウンドセールスミッション（ＪＴＢ東北主催）
　2 月 11 日、タイをはじめアジアからの誘客促進を図るため、当連盟会員 10 名が参加し、東北６県共同で現地説明会をしたほか、12 日は秋田県訪問団単独でバンコク市内旅行エージェントの訪問活動等を行った。

④ASEAN からの誘客対策事業

○　7 月 26 日～29 日、マレーシア国からの誘客を図るため、マレーシアのエージェントやメディアを招聘し、仙北、男鹿地域を中心にＰＲした。

○　10 月 19 日～21 日、マレーシア国ペラ州で開催される観光展に、当連盟の仲介により、白神山地世界遺産センター職員が参加し、あきた白神の魅力をアピールした。

⑤訪日観光客誘客促進事業助成金

　インバウンド事業への参加及び訪日観光客の誘客促進を図るため、国外で行われる商談会等への参加費用の一部を助成した。
・台湾分　　11 件　330,000 円
・タイ分　　3 件　90,000 円
・韓国分　　2 件　40,000 円

⑥外航クルーズ船等の受入

外航クルーズ船内及び寄港地において、観光案内等を行った。

・5/12　　コスタ・ビクトリア号観光ＰＲ
・6/10～　　大型外航クルーズ客船受入体制検討会議への参画
・10/21　　セレブリティ・ミレニアム号入港歓迎

⑦秋田大学留学生対象モニターツアー

秋田大学の留学生を対象としたモニターツアーを実施し、フェイスブック等で情報発信を行ってもらい、海外からの誘客を図った。

○第１回　10/17　『秋田のおいしいフードと自然を楽しむツアー』(16名参加)

○第２回　3/4　『食べて、観て、作って楽しむ、伝統満喫ツアー』(21名参加)

○ＦＩＴ課題調査モニターツアー

旅行の計画から実施まで自身で体験してもらい、施設や交通機関について外国人観光客が個人旅行する場合の課題についてヒアリング調査を行った。

期　間：平成２８年１月４日～１月５日
方　面：田沢湖、角館
参加者：２名（ウクライナ、韓国）
※参加した学生の意見・感想は会員専用ページ「訪日誘客」に掲載

⑧東京・東北地域連携による外国人旅行者誘致事業(県委託事業)

○2 月 13 日～15 日、０２０年東京オリンピック・パラリンピック競技大会とその先を見据え、東京を訪れた外国人個人旅行者の秋田県への誘客促進を目的に、オーストラリアメディア関係者など 2 名を招いてファムツアーを行った。

６．秋田県内の地域間及び隣県等との広域連携の強化

本県観光の主体となっている県内及び近隣県からの誘客を強化するため、ＰＲ活動等を展開した。

(1) 県内相互交流推進事業

他地域の観光地や取り組みなどを勉強し、秋田に来られた観光客へ全県の観光情報を知ってもらうとともに県内流動へつなげて行くことを目的として、県内各地の講師を招いて講演を行った。

〇2/23　県北地域　ニューグランドホテル松鶴
〇2/24　中央地域　ルポールみずほ
〇2/25　県南地域　横手セントラルホテル

ニューグランドホテル松鶴

ルポールみずほ

横手セントラルホテル

(2) 隣県交流・誘客促進事業

県外からの入込者数の過半数以上を占め、本県観光事業経営の主力をなしている隣接県からの誘客を増やすため、大規模なＰＲ活動を行った。

①観光ＰＲ活動等

〇イベントへの参加

・9/19-20　「ハイウェイフェスタとうほく 2015」観光ＰＲ（仙台市）

〇隣県情報発信事業（県委託事業）

青森、岩手、山形で観光イベントを開催し、併せて観光客流動調査を実施した。

・9/19　　山形県三川郡イオンモール三川

・9/21　　青森県さくら野百貨店弘前店

・10/4　　岩手県イオンモール盛岡店

上記観光イベントにあわせて、観光地の情報を新聞折込・全面広告を用いて情報発信。

【新聞折込広告　Ｂ３版　二つ折り】

山形県庄内地域	コミュニティ新聞社	８０，２１０部（９／１８）
青森県弘前地域	東奥日報	４２，４９０部（９／１８）
岩手県盛岡地域	岩手日報	６０，２２０部（１０／２）

【新聞全面広告（中段モノクロ１５段）】

朝日新聞　東北６県版

山形県	５５，１０２部（９／１８）
青森県	１９，３４０部（９／１８）
岩手県	２９，１６２部（１０／２）
宮城県	６７，０７５部（１／２８）
福島県	５５，５４２部（１／２８）
秋田県	２９，８８６部（１／２８）

その他、朝日新聞東日本版広告フリー掲載枠に秋田県内の桜の名所情報を登録。

(3) 広域観光推進事業

観光産業についての意見交換や人材育成、ビジネスモデル化等の検討など観光産業の更なる活性化を図るための各種活動に参画したほか、会員等の意向を踏まえ「みんなにやさしい観光あきたづくり」の実現に向けた活動を行った。

① 県と会員の連携強化

秋田県観光文化スポーツ部と会員事業者の相互理解を図るため、県内３地区で県幹部を交えた意見交換会を開催したほか、政策提言を行った。

・7/14　　男鹿地区
・7/21　　仙北地区
・8/10　　秋田県観光文化スポーツ部への政策提言活動

② 県内開催イベント、地域活動等への協力

・5/18～　「地域伝統芸能全国大会」開催に向けた支援（横手市開催）
・7/ 3　「東北中央自動車道新庄･湯沢間早期建設フォーラム」への参画（湯沢市）
・7/10　「高速道路ﾈｯﾄﾜｰｸを活用した地域づくりフォーラム」への参画（秋田市）
・9/ 4～　「市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン」開催に向けた支援（横手市開催）
・9/ 8　「ローカルクールジャパン秋田会議」への参画（秋田市）
・10/16　「全国若手モノづくりシンポジウム」への参画（秋田市）
・10/30　「第８回小坂町観光フォーラム」開催に向けた支援（小坂町）

③ 国内各地との連携・協力

・4/19　首都圏秋田県人会連合会への参画（東京都）
・10/10･11　県福岡事務所主催　九州・沖縄旅行ＡＧＴ視察同行（秋田市ほか）
・11/10　連携強化に向けた岩手県観光協会との協議（秋田市）
・11/12　日本観光振興協会との協議（秋田市）
・12/14　連携強化に向けた青森県観光連盟との協議（青森市）
・12/24　北東北三県連携による教育旅行誘致促進等に関する会議（盛岡市）
・1/19　観光庁との協議（東京都）
・2/9　ＪＮＴＯ国際観光案内所認定に係る東北運輸局との協議（仙台市）
・2/11　県福岡事務所主催　九州・沖縄旅行ＡＧＴ視察同行（北秋田市ほか）
・2/15　東北観光地域づくりシンポジウムへの参画（仙台市）
・2/19　連携強化に向けた岩手県観光協会との協議（盛岡市）

④ 会員主催事業等への参加

・4/7　男鹿温泉結いの宿「つばき」リニューアルオープン式典（男鹿市）
・4/9　「帝水」リニューアルオープン式典（男鹿市）
・4/11　「勢至公園観桜会」山開き式典（にかほ市）
・4/11　ミュージカル「為三さん！」初日公演記念式典（仙北市）
・4/18　世界三景「寒風山」看板除幕式記念式典（男鹿市）
・4/29　みちのく三大桜名所連絡会議「さくらサミット」（仙北市）
・5/24　中島台・獅子ケ鼻湿原森開き式典（にかほ市）
・5/24　八幡平山開き式典（鹿角市）
・6/1　秋田駒ヶ岳山開き式典（仙北市）
・6/24　入道崎「延命地蔵」まつり祭典（男鹿市）
・7/13　せせらぎ宿湯瀬ホテル１周年記念式典（鹿角市）
・8/27　ＪＡＬ　ＪＡＰＡＮ　ＰＲＯＪＥＣＴ２０１５（秋田市）
・8/29　「政吉とフジタ」初回記念公演（秋田市）
・9/30　新町政施行 60 周年記念特別公演「天空の魚影」初日公演式典（小坂町）
・10/1　由利高原鉄道開業 30 周年記念式典（由利本荘市）
・10/11-12　地域伝統芸能全国大会式典（横手市）
・11/6　「政吉とフジタ」出演女優による県庁内巡回訪問（秋田市）
・1/18　たざわ湖スキー場開き式典(仙北市)
・1/30　「どど～ぉん！大曲花火物語」初公演・記念セレモニー（仙北市）

⑤「みんなにやさしい観光秋田づくり」の推進

あきた旅のサポートセンター開設に向け、会員宿泊施設に対してバリアフリー調査についての説明及び調査受入の意向確認を実施したほか、それを受けて車いすボランティアの方にも協力いただきながら本調査を実施した。

〇6/12　「動物にやさしい秋田」調整連絡会議への参加
〇6/18-19　バリアフリー観光全国フォーラムへの参加（那覇市）
〇6 月～8 月　バリアフリー調査についての説明及び受入意向確認（１４６施設）
〇9/8～9　講師を招きバリアフリー調査に向けた研修実施（男鹿市、秋田市）
〇10/15-16　秋田県、会員代表との合同事例調査・意見交換(伊勢志摩地域)
〇9 月～2 月　宿泊施設の調査を実施（１１９施設／2 月 29 日現在）
〇11/24　秋田県バリアフリー社会形成審議会において取組内容を周知説明
〇12/5　みやぎユニバーサルツーリズムシンポジウムへの参加（仙台市）
〇1 月～3 月　調査したバリアの情報をホームページに入力
〇2/4　開設に向けたアドバイザー会議開催（秋田市）
〇2/19　東北バリアフリー基本構想策定支援セミナーにおいて講演（盛岡市）
〇2 月　センター周知のためのリーフレットを作成
あきた旅のサポートセンター　日本語版 5,000 部、英語版 5,000 部
（3 月末納品予定）
秋田バリアフリーツアーセンター　10,000 部
宿泊施設バリアフリー情報（簡略版）　5,000 部
〇3/8　あきた旅のサポートセンターを海外向けに周知するため、外国人向け日本観光ポータルサイト「ジャパンガイド」を招聘し取材を行った。
※平成２８年４月以降　バリアフリー情報の発信（予定）

（バリアフリー調査に向けた研修の様子）

⑥ 秋田県議会観光産業振興議員連盟との連携

今年度、事務局が当連盟から県議会事務局に移ったことから、おもに事務局と各地域との連絡調整を担当した。

〇6/24　役員会
〇7/1　総会
〇9/3　第１回勉強会　横手市（横手市観光事業者の取組状況、現地調査）
〇11/20　第２回勉強会　鹿角市（十和田八幡平地域観光事業者の取組状況、課題等）
〇1/25　第３回勉強会　にかほ市（由利本荘、にかほ地域観光事業者の取組状況、課題等）
〇3/15　役員会

(5) 教育旅行誘致事業

北海道地区からの教育旅行、仙台地区の体験学習旅行を中心に誘致活動へ取り組んだ。

① 当連盟主催事業

・9/1　秋田県教育旅行誘致説明会（ライフォート札幌）（県主催５回目）
中学校 20 校 55 名、旅行エージェント 10 社 20 名、秋田９地域 52 名

・11/19　秋田県教育旅行誘致事業における意見交換会(秋田県庁第２庁舎)
今後の秋田県への教育旅行誘致活動を促進するため、９月に北海道札幌市で行った「秋田県教育旅行誘致説明会」に参加した地域の代表者との意見交換会を行った。

・3/10　札幌市内旅行エージェント４社を訪問し、セールスを行った。

② あきた広域観光誘客推進協議会事業への支援協力

・4/10　幹事会参加
・6/ 2　総会参加
・7/14-16　同会主催の北海道キャラバン開催に参加

③ その他

・5/15　第１回東北教育旅行誘致部会（東北観光振興機構主催）に参加
・7/28　教育旅行東京セミナーに参加
・8/19-21　男鹿市主催の教育旅行ファムツアーに参加協力
・10/10-12　能代山本広域市町村圏組合主催の教育旅行誘致にむけたモニターツアーへ参加協力
・11/6-8　男鹿市主催の教育旅行誘致にむけたファムツアーへ参加協力
・11/27-29　男鹿市主催の教育旅行誘致にむけたファムツアーへ参加協力
・2/26　第２回東北教育旅行誘致部会（東北観光振興機構主催）に参加
・3/9･11　新しい教育旅行素材の国際教養大学　イングリッシュビレッジ視察
・3/11　東北教育旅行セミナー（東北観光振興機構主催）に参加

観光連盟取組体制の再構築

１　組織体制及び役割分担などの見直し、連携の強化

(1) 観光ディレクター活動促進事業

ＪＴＢ東北から観光ディレクターの派遣を受け、地域の観光地づくりに関する助言・指導、秋田セールス等を行った。

○4/10　あきた広域観光誘客推進協議会に出席し、ＡＧＴの立場からみた秋田県の教育旅行に関する助言実施
○5/19-6/11　東北隣県の旅行代理店、バス会社等に秋冬向けの県内旅行の新素材ＰＲ
９～３月に計 14 社、約 2,100 名のツアー催行（再掲）
○6/25　クラブツーリズム仙台の担当者の県内視察に同行し、ツアー設定が成立
○9/19･20　ＮＥＸＣＯハイウェイフェスタ（仙台市）での秋田県観光ＰＲ
○10/10･11　県福岡事務所主催の九州・沖縄旅行ＡＧＴ商談会出席・視察同行
○10/16　全国若手モノづくりシンポジウム参画
○12/1-10　会員施設向けホスピタリティ研修実施
○12/14-21　東北隣県の旅行代理店、バス会社等に春夏向けの県内旅行の新素材ＰＲ
○2/10･11　県福岡事務所主催の九州・沖縄旅行ＡＧＴ商談会出席・視察同行
○2/15　男鹿魅力創造会議への参画

(2)市町村協働推進事業

能代市、秋田市、男鹿市、横手市から職員４名の通年研修を受け入れ、地域と連携した情報発信、観光地づくり支援を実践する。

○4/9-10　男鹿魅力創造会議への参画
○5/14～　横手市観光振興計画策定委員会への協力
○5/28　男鹿市へ来訪した札幌市教育旅行中学校関係者並びに旅行会社との意見交換（5/29、6/7、6/9）
○6/29　男鹿線を活用した２次交通の勉強会への参画
○7/10　男鹿市域内交通に係る検討会への参画
○8/14　『男鹿日本海花火とジオ堪能ツアー』の開催（再掲）
○8/19-21　男鹿市主催の札幌市からの教育旅行ファムツアーに参加協力(再掲)
○9/26　『木都能代　満喫ツアー』の開催（再掲）
○10/10-12　能代山本広域市町村圏組合主催の教育旅行誘致にむけたモニターツアーへ参加協力（再掲）
○11/6-8　男鹿市主催の札幌市からの教育旅行ファムツアーに参加協力（再掲）
○11/27-29　男鹿市主催の札幌市からの教育旅行ファムツアーに参加協力（再掲）
○12/10　『ミュージカル「政吉とフジタ」鑑賞と見どころ寄りどころ満載！秋田市まちあるきツアー』の開催（再掲）
○1/9-11　横浜八景島シーパラダイスで行われた「こでられね～!!秋田大集合」において、横手のかまくら、男鹿のなまはげ、大仙市の花火、県内ご当地グルメの団体とともに秋田県観光ＰＲ
○1/8-17　東京ドームで行われた「ふるさと祭り」において、秋田の竿燈、能代の天空の不夜城等とともに秋田県観光ＰＲ
○1/26-2/1　秋田市の「（仮称）オール秋田「食と芸能」大祭典」開催に向けた支援協力(県内市町村への協力要請等)

(3)観光連盟機能強化事業

①観光連盟ニュースの発行

○毎月１回発行　Vol.７８ ～Vol.８８(２月号)

②観光客入込状況の毎月把握と分析結果の会員への提供

○宿泊施設への定期アンケート調査を実施し、分析結果を会員に還元

③若手リーダーによる秋田観光盛上げ隊の開催

○7/6　「外国人誘客について」
○9/30　「二次アクセスについて」
○1/27　「平成 28 年度事業計画について」

（会議メンバー）
板谷　大樹　八峰町観光協会事務局長
打川　敦　横手市観光協会会長
田中　剛一　日本航空(株)秋田支店支店長
中嶋　日吉　第一観光バス社長
松村　譲裕　秋田県旅館ホテル生活衛生同業組合理事長
山本　佳子　元湯雄山閣　若女将
小国　輝也　常務理事（座長）

④観光協会長等会議の開催

〇2/2　メトロポリタンホテル秋田　　23 名参加

⑤地域別懇談会の開催（相互交流勉強会と同時開催）

〇2/23　県北地区　ニューグランドホテル松鶴　　16 名参加
〇2/24　中央地区　ルポールみずほ　　27 名参加
〇2/25　県南地区　横手セントラルホテル　　20 名参加

⑥「みんな、秋田の案内人。」ポスターの制作

会員総参加による「おもてなし向上策」として、平成 24 年度から取り組んでいる当連盟会員施設の従業員の顔写真入りポスターの制作を行った。

(4) 各種協議会等連携事業

（後援・協賛）

〇秋田竿燈まつり、田沢湖マラソン他

後援 36 件、賞状７件、副賞８件、共催３件、協賛２件（平成 28 年 3 月 3 日現在）

（各種団体・協議会への参加、協力）

・4/9　八幡平を美しくする会八幡平支部定期総会(鹿角市)
・4/10　あきた広域観光誘客推進協議会（秋田市）
・4/14　ＪＴＢ協定旅館ホテル連盟秋田支部（秋田市）
・4/15　秋田市竿燈まつり実行委員会（秋田市）
・4/20 他　日本スポーツマスターズ 2016 秋田大会実行委員会(秋田市)
・4/24 他　秋田の観光創生推進会議（秋田市）
・4/27　秋田県観光と物産展実施協議会（秋田市）
・5/14　日本観光振興協会東北支部幹事会・総会（仙台市）
・5/18　男鹿市観光協会通常総会（男鹿市）
・5/20 他　東北観光推進機構「東北観光推進会議」他（仙台市）
・5/21 他　秋田密着型旅行商品開発促進協議会（秋田市）
・5/22 他　秋田空港からの二次アクセスを高める会（秋田市）
・5/22　湯沢市観光物産協会通常総会（湯沢市）
・5/22　田沢湖観光協会通常総会（仙北市）
・5/25　秋田県旅館ホテル生活衛生同業組合通常総会（秋田市）
・5/25　森吉山スキー場管理運営協議会総会（北秋田市）
・5/28　北東北三県観光立県推進協議会総会他（秋田市）
・6/ 2　秋田花まるっグリーンツーリズム推進協議会総会（秋田市）
・6/ 4　日本海沿岸東北自動車道早期建設期成同盟会総会（秋田市）
・6/9　秋田ふるさと検定検討委員会(秋田市)
・6/11　日本観光振興協会通常総会（東京都）
・6/29　秋田観光土産品公正取引協議会通常総会（秋田市）
・7/ 8　あきびネット総会（秋田市）
・7/ 8　あきた未来塾実行委員会（秋田市）
・7/10　大曲の花火渋滞解消検討会（大仙市）

・7/15　　山形新幹線大曲延伸協議会（湯沢市）
・7/15　　国際教養大学サポーターズクラブ総会（秋田市）
・7/23　　東北観光推進機構６社協秋田県支部総会他（秋田市）
・7/30　　ねんりんピック秋田 2017 実行委員会（秋田市）
・8/11　　秋田岩手広域観光推進協議会総会(秋田市)
・8/24　　みちのく五大雪まつり推進協議会（青森県）
・9/10　　ご当地グルメフェスティバル 2015 実行委員会（秋田市）
・9/29　　由利地域観光振興会（由利本荘市）
・10/14　　秋田空港利用促進協議会（秋田市）
・10/21　　大湯温泉旅館組合（鹿角市）
　11/24　　秋田・タイ王国友好協会総会(秋田市)
・11/28　　山形新幹線大曲延伸推進会議フォーラム（湯沢市）
・12/15　　男鹿の二次アクセス整備推進協議会設立総会（男鹿市）
・2/3　　県旅館ホテル生活衛生同業組合「助成金・補助金勉強会」（男鹿市）
・2/15　　第３回秋田創生会議（秋田市）
・2/22　　秋田・はいうぇい人街ネット地域協議会（秋田市）
・3/9　　日本スポーツマスターズ 2016 秋田大会第 2 回企画運営委員会（秋田市）
・3/25　　地域伝統芸能全国大会実行委員会（秋田市）
・3/25　　ふるさとあきたラン実行委員会（秋田市）

⑸会員倍増計画推進事業

〇観光に直接関連する事業者のみならず、各観光協会へ飲食事業者紹介依頼・関連する他業界の事業者にも会員勧誘

平成２８年２月２９日現在　　正会員　　４１０施設（２６年度末比＋１５施設）
　　賛助会員　　５２施設（２６年度末比＋５施設）

２　笑顔のおもてなしによるリピーターの増加

⑴ホスピタリティ調査・研修の実施

〇6/4-7/17　　会員施設のホスピタリティ調査を実施（延 30 日間、139 箇所）
〇12/1-10　　ホスピタリティ研修開催（延 6 日間）
　　12/1-3　現場担当者向け（秋田市・横手市・大館市、67 名）
　　12/8-10　中間職向け（秋田市・横手市・大館市、37 名）

⑵「秋田カンバン娘」によるおもてなしの推進

秋田美人に代表される女性のやさしさ、真心を前面に出したおもてなしを展開していく。

○おもてなし研修会の実施

秋田カンバン娘のおもてなし力の向上のため、実技を交えたおもてなし研修会を実施した。

7/28　　講師：(株)ザ・アール専属講師　参加者：24 名

○県外出前観光ＰＲ

隣県での誘客促進事業において、秋田カンバン娘と秋田県の観光のＰＲを行った。

・9/19　山形県　イオンモール三川
・9/21　青森県　さくら野百貨店弘前店
・10/4　岩手県　イオンモール盛岡

○由利高原鉄道「カンバン娘を訪ねる旅」のお見送り

秋田駅東口にて、由利高原鉄道が企画・実施した「秋田カンバン娘がいる施設を巡るツアー」の参加者に、参加記念バッチ等をプレゼントし、お見送りを行った。

○秋田カンバン娘情報交換会

日頃の業務に関する悩みや困りごと、地域のおすすめ情報などに関する情報交換を行った。

・1/27　仙北市角館交流センター　　４名
・1/28　ルポールみずほ（秋田市）　　９名

○北海道新幹線開業イベント出前観光ＰＲ

・3/26-27　ＪＲ函館駅隣接特設会場

(3)会員との連携による観光客受入体制強化事業

ヤマト運輸との包括的業務連携協定を踏まえ、あきた手ぶら便など、来訪者の利便性向上に向けた取組を進める。

○「あきた手ぶら便」ＰＲグッズの作成

（各駅案内所・各観光協会・県各事務所・全国アンテナショップへ、名刺サイズカード案内作成の上配備）

・平成２８年２月２９日現在　４３件の利用

○秋田県刊行物への告知用広告掲載

・「アキタノ旅マップ」初版９万部

３　管理業務・法人に関する活動等

(1) 定時総会

○開催日　平成 27 年 5 月 26 日（火）
○場　所　秋田キャッスルホテル
○議　事　・平成 26 年度事業報告について
・平成 26 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書等の承認について
・平成 26 年度公益目的支出計画実施報告書について
・平成 27 年度事業計画及び収支予算について
・会費等に関する規程の改定（案）について
・会費（案）について
・役員の選任等について
○出席者　１４９名

(2) 理事会

（第 1 回）
○開催日　平成 27 年 5 月 11 日（月）
○場　所　ルポールみずほ
○議　事　・平成 26 年度収支決算等について
・平成 26 年度会計監査報告について
・平成 27 年度収支予算（案）の補正について
・平成 26 年度公益目的支出計画実施報告書について
・平成 27 年度定時総会提出議案及び報告について
・会長、副会長、専務理事及び常務理事の職務の執行状況について
・会員の入退会について
○出席者　理事９名　監事２名

（第 2 回）
○開催日　平成 27 年 5 月 26 日（火）
○場　所　秋田キャッスルホテル
○議　事　会長、副会長、専務理事、常務理事の選定について
○出席者　理事　１７名　監事２名

（第 3 回）
○開催日　平成 27 年 11 月 17 日（火）
○場　所　秋田キャッスルホテル
○議　事　平成 27 年度事業計画の変更(案)及び補正予算(案)について
平成 28 年度事業計画(案)について
平成 28 年度市町村会費(案)について
平成 27 年度上半期の事業報告について
会長、副会長、専務理事及び常務理事の職務の執行状況について
会員の入退会について
○出席者　理事　１４名　監事１名

（第 4 回）

○開催日　平成 28 年 3 月 25 日（金）

○場　所　ルポールみずほ

○議　事　平成 27 年度事業計画の変更（案）及び補正予算(案)について
平成 27 年度事業報告及び収支決算見込みについて
平成 28 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
平成 28 年度定時総会の招集について
役員の一部改選について
職員の任期更新等について
あきた旅のサポートセンター及び秋田バリアフリーツアーセンターの開所について
会長、副会長、専務理事及び常務理事の職務の執行状況について
会員の入退会について
平成 28 年度事務局体制について

○出席者　理事　１６名　監事２名

秋田県観光文化スポーツ部と連携した受託事業

秋田県からの受託事業（上記以外）

○秋田県観光統計業務

○ホームページ維持管理業務

○「秋田に泊まろう！」推進事業業務